

400 人を前にフラワーパフォーマンスを披露した石原さん



花と緑でいっぱいのに 観光大使の石原さんが記念イベント開催

世界的に著名な庭園デザイナーで柳川観光大使の石原和幸さんによる記念イベントが7月13日、水の郷で開かれました。イベントは、英国「切尔西フラワーショー2024」でのシルバーギルド受賞を記念して開催。石原さんは花との出会いや自ら手掛けた庭園、英国のエリザベス女王とのエピソードなどを紹介しました。最後にフラワーパフォーマンスを披露して会場を沸かせた石原さんは「花でまちが変わる。市民に協力してもらい柳川を日本一のアジサイの名所にしたい」と意気込んでいました。

取材を通して経験した人権問題を語る河野さん



人権の大切さを伝え続ける 人権・同和教育夏期講座を開催

西日本新聞社柳川支局長の河野潤一郎さんを招いた人権・同和教育夏期講座が7月6日、市民文化会館でありました。「部落差別と水俣病の現場から」と題した講演で、学校での差別文書送付事件や水俣病問題の取材活動を紹介。60年以上がたった今でも水俣病患者に対する差別や偏見があることなど取材の中で感じた問題を訴えました。河野さんは「大切なのは他人事ではなく、自分事としてとらえること。これからも人権の大切さを伝えていきたい」と語りました。

平成18年に見つかった「新谷正人」と刻まれた歯ブラシ



平和への願いをこめて 沖縄戦戦没者を追悼法要

沖縄戦で犠牲となった柳川市とみやま市出身者を慰霊する沖縄戦戦没者追悼法要が7月13日、吉富町の多福寺でありました。法要では姉川圭介さん（72歳）が市出身の兵士、新谷正人さんの足跡を講話。正さんが戦死して遺骨も遺品もなかった中、平成18年に正人さんの名前が刻まれた歯ブラシが見つかったことを紹介しました。正人さんのおいの新谷廣さん（69歳）は「法要ができてうれしい。平和のため、戦没者に代わって声を上げていくことが大切」と語りました。

EM菌を使った肥料を学級園にまく子どもたち



野菜づくりは土づくりから 柳河小学校でEM菌肥料の体験学習

7月18日、柳河小学校の1年生32人とにじいろ学級の児童が同校近くにある3年程前から農業体験を実施している松藤俊二さんの畑でEM菌肥料を使った体験学習を受けました。児童たちは松藤さんが作った肥料の観察や、柳川市が推奨しているEM菌と米ぬかを使った肥料づくりを体験し、土づくりの大切さを学びました。松藤かすみさんは「肥料はいろんな匂いがした。野菜がおいしく育って、食べるのが楽しみです」と話していました。



【上】強烈なアタックを武器に3位と健闘した柳川高校（赤）
【下】粘り強いつなぎのバレーを見せた伝習館（白）



水上を滑るように進むソーラーボート



掘割を活用した水上レース開催 ソーラーボート大会に外国チームも参加

からたち文人の足湯公園一帯で7月28日、柳川ソーラーボート大会が開かれました。市内をはじめ、高知県や長崎県、遠くはインドネシアなどから17チームが参加。各チーム自慢のボートが周回レースなどで熱戦を繰り広げました。川下りコースを含む全長10kmの周回レースでは、市内から出場した「チーム荒巻」が2連覇を達成。大会の結果は実行委員会公式サイトで見ることができます。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係 ☎ 77・8425

飛んでつないで勝利をつかめ 柳河立花藩近圀高校バレーボール大会

8月3日と4日、市民体育館で柳河立花藩近圀高校女子バレーボール大会がありました。大会には県内や佐賀、大分などから12チームが参加。頂点を目指し熱戦が繰り広げられました。市内からは柳川高校と伝習館が出場し、柳川高校が3位と健闘。同校の近藤亜美さん（18歳）は「みんなを引っ張ってチームがプレーしやすい心がけた」。予選敗退となった伝習館の永野桃羽さん（16歳）は「強いチーム相手に粘り強くつなぐバレーで挑めた」と振り返りました。

地域の安全や五穀豊穡を願って火を灯す小学生



地域の安全安心を祈って 蒲船津の熊野神社で千燈明

蒲船津の熊野神社で7月27日、千燈明が実施され、子どもから高齢者まで40人が参加しました。254個のLEDライトと油を入れた20個の赤貝に火を灯し、地域の安全安心や五穀豊穡を祈願する同祭。祭りの中では、ひょっとこ踊りやじゃんけん大会が行われ、とても盛り上がっていました。初めて参加したという藤吉小4年の田中瑛大さんは「この日を楽しみにしていた。火をつけるのは難しかったけど、たくさんついできれいになったからうれしい」と話してくれました。